

妙智會

3月28日 春の大法要

千葉聖地 大道場 (ライブ配信)

宮本法嗣先生ご指導

Vol. 129

2024. 3. 31

1/2

この3月までの間にいろんなことがありました。そのような中で、もう一度去年の12月の28日、納めの供養会で私の指導をおさらいをしていきたいと思います。

【昨年12月28日本部納めの供養会の抜粋したご指導を拝聴。

Vol.118のご指導要旨をご参照ください】

皆さんの軸をどうすれば地面に深く入れることができるか。

それは、先祖供養です。妙智會は先祖供養する教団です。そして、導きは命だと、宝だと、妙智會を開教された会主さまご指導を私たちは実行していません。

特に今年は怖いから、ちゃんとお経も徹底をさせるために、本日、この会主さまの縁日に、もう一度私は、会主さまのご指導を皆さんに伝えているのです。

能登半島の地震、各界の様々なできごとを見聞きして、皆さんもわかっているはずです。でもまだ自分は大丈夫と思ってる。これがとても怖いことです。もうそんなこと言っていられる時ではありません。4月から12月までの間に、今以上のことが起きるから申し上げているのです。

私がこっちの道が絶対安全ですと言っても、いやこっちの道がいいと、皆さんがそう言ってしまえばそれでおしまいです。しかしそれは信仰ではありません。信仰とは、教えを信じることです。

会主さまの教えを頂いている私たちは、会主さまのご指導を、行ふべきだと私は思います。ぜひしっかりと会主さまの道を歩いてください。そして功德を頂いて、この大変な年を笑顔で過ごして頂きたいと切に願っています。

もう一つ、会主さまの最後の節分のご指導は、心、根性を直せ、鬼の根性をとりなさいということでした。素直になって「そうか、やってみよう」「こういう所を改めよう」と、そういう気持ちをもって頂くことが会主さまの願いです。私たちは人を傷つける、不幸にしてしまう、そういう鬼の根性を少なからず持ってると思います。だから最後に会主さまがあのようなご指導くださったのです。

先ほど話したことも、皆さんが素直になって、よし、一步踏み出そうと、ぜひそう思って頂きたい。それが、我々の持つてゐる鬼の根性が、少なからず小さくなる証であります。大きなゴールを決めずに、まずは一步一步、毎日毎日改めて行かう、そういう姿を見たときに会主さまは、喜んでくださると思います。

会主さまは、ご生前中も、霊界に帰られてからも、皆さんのことが大好きで、皆さんの幸せを強く願ってらっしゃいます。

今日、この場に來た方はそれを多分感じてくださっていると私は信じています。今皆さんは、会主さまの大きな愛の中にいます。

「大丈夫だよ、安心しなさい。私が命がけで守るよ。安心して歩みなさい。だけど、私の言ったことをやってちょうだい。お経上げて、お導きして、根性を直して、そうすれば私が全力で皆さんを守るよ」私は、そう聞こえます。

信じてください。皆さん、素直になってやってみてください。素晴らしい会主さまの教えを行ってみてください。結果ではありません。お経を朝夕上げてみてください。お導きをしようと思ってください。根性を直そうと思ってください。そうすれば、必ず会主さまのお慈悲をいただけます。会主さまが守ってくださいます。